

第3回

大島旧中川そらまめ祭り

2016年5月14日(土)・15日(日)

会 場 大島地区 旧中川 川の駅 周辺

主 催 旧中川まちづくり協議会

「中川そらまめ」

江戸時代に中川界限から江戸市中に広がったと言われている江戸原種の「そらまめ」

かつて、江東区の東端・旧中川周辺は江戸にもっとも近い「近郊農村」で、そらまめ・大根・ネギ・小松菜などが栽培され、江戸っ子たちの胃袋を支えていた場所です。

また、徳川家康が開いた小名木川河口にあたる中川口には「中川番所」が置かれ、関東一円の川筋から舟でたくさんの物資がここに集められました。江戸の経済を支え、近郊農村としても発展してきたこの地で、かつて栽培されていた幻の江戸野菜「中川そらまめ」にスポットをあてて、みなさんに旧中川周辺地域の歴史と魅力を情報発信するお祭りが「大島旧中川そらまめ祭り」です。

そらまめ祭りに想いを寄せて

・浅野美智子（旧中川まちづくり協議会会長）

このそらまめ祭りを着想いたしましたのは、私の夫 浅野清でした。

浅野清は昭和二十年十月に大島七丁目に生まれ育ちました。

子供の頃、この大島は台風が来ると地域一帯水びたしになったそうです。

また都内では有数の工場地帯として、商店街もあちこち誕生するなど活気がありました。

しかしながら亀戸、深川地区と比べて観光資源や商業施設も少なく、さまざまな意味で「何もない地区」との町民意識が根強い場所でした。

時代が変わり工場が移転すると、跡地に次々と集合住宅や大規模商業施設が誕生しました。さらに都営地下鉄新宿線の開通により、その変貌に拍車がかかり、人口は目に見えて増加いたしました。

それに比例して家内工業の職人さんや個人商店は減少し、町への愛着、下町情緒が希薄になったのは否めません。

新六ノ橋町会の会長を務めていた夫は平成25年にオープンした「旧中川・川の駅」をきっかけに、大島の「街の活性化活動」をスタートしたいと考えました。

ついてはその手順や手法などを芝浦工業大学の志村先生にご相談いたしたく、区の観光関係のNPO法人を運営する吉田様を通じてお願いするとともに、町の組織の中核である大島町会連合会、大島地区自治会連合会の会長様方にご相談させていただいておりました。

中川船番所資料館の久染次長様、江東区カヌー協会の小宮様はじめ旧中川を利用するカヌー団体の方々と、川面にそよぐ風に吹かれ「男のロマン」をふくらませていたそうです。

地域に愛される永続的な組織づくりを目指して江東区役所関係課の方々と話し合っていた矢先、夫は病に勝てずに亡くなってしまいました。

夫亡きあと多くの方から「浅野清さんの思いを形にしてあげて！」との応援をいただき、今日に至っております。

現在の旧中川はパラリンピックを目指す若者も練習するという、未来につながる場所です。皆様のお力を賜り、水辺を利用しての大島の活性化を目指してまいりたいと考えております。

ご協力のほど、心よりお願いを申し上げます。

そらまめ ～江戸の暮らしと旧中川～

久染 健夫（中川船番所資料館次長）

江戸ができる以前から、今の東京湾には3本の川が注いでいました。隅田川に江戸川（利根川）そしてその中（間）を流れる（旧）中川です。

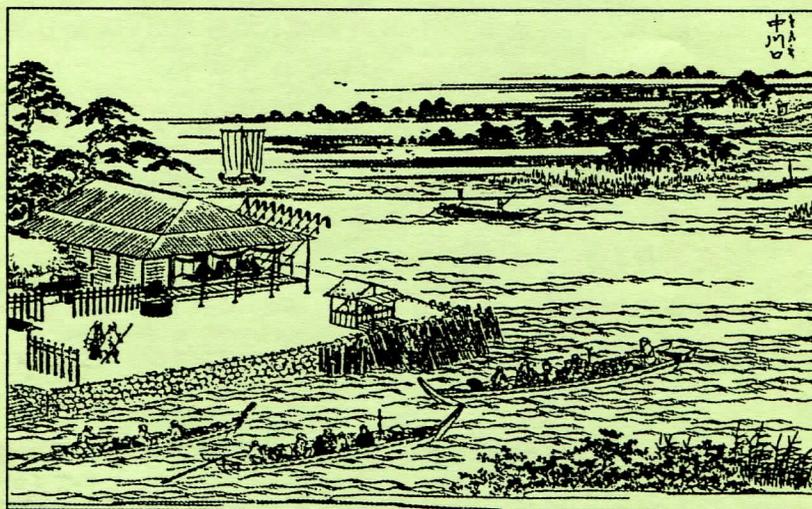
徳川家康が関東一円を秀吉から与えられ、城下町江戸を建設するにあたり、420年前に江戸周辺の房総方面から塩や年貢米を搬送するために開かれたのが小名木川です。

やがて利根川を中心に関東一円の水体系が作られ、江戸市中の運河も整備されると、小名木川は関東や東北南部と川でつながることになり、江戸と関東を結ぶ大動脈になりました。

そこで江戸へ入る商品を改め、人やモノの動きを把握する場所として小名木川東端の中川口に番所が置かれました。

この付近は、江戸初期からの近郊農村として本所や江戸に野菜を供給してきました。旧中川沿岸ではそらまめ栽培がおこなわれたと、江戸後期『武江産物誌』で紹介しています。

「水路から見た江戸への入口」として江戸経済にとって重要な場所だったこと、明治以降は水運を生かした工場地帯になったこと、江戸に野菜を供給してきた場所だったことなど大島周辺の「今まで」を知ってもらいながら、川の駅と大島から新たな地域コミュニティの場を発信・提供させていただくため、このそらまめ祭りが生まれました。



『江戸名所図会』中川口
（建物の右側に突き出ているのは槍、番所であることを示している）

—これまでのそらまめ祭り—

- 第一回そらまめ祭り 2014年5月24日・25日
- 第二回そらまめ祭り 2015年5月 9日・10日
参加者…2日間で約7500名
パンフレットの新聞折り込み…大島エリアに約7000部（朝日・読売）配布
- 第三回そらまめ祭り 2016年5月14日・15日
協 力…大島一丁目～九丁目全町会・亀戸九丁目町会の全面参加
パンフレットの新聞折り込み…昨年に加え、小松川地区約1500部配布

皆様からの善意のご寄付が「大島旧中川そらまめ祭り」の財源となります。
私どもの活動の趣旨をご理解いただきまして、是非ともご協賛を賜りますよう心よりお
願い申し上げます。

なお、ご協賛の内容につきましては、下記のようにご案内いたします。
何卒よろしくようお願い申し上げます。

- 内 容 1口・・・5,000円 法人企業は2口以上からご協力願います。
- 納入方法 1. ご連絡頂戴次第お伺いいたします。
2. お振込の場合
送 金 先 東京ベイ信用金庫 大島支店(店番043)
口座番号 普通預金 1190021
名 義 旧中川まちづくり協議会 会計 三輪邦子
名義人住所 江東区大島7-27-20
電 話 03-3681-9924
- 領収書 随時発行いたします。
- 広 報 「大島旧中川そらまめ祭り」ホームページ、当日会場マップにて
ご芳名を披露させていただきます。(http://www.nakagawa-soramame.com)

* 問合せ先：「大島旧中川そらまめ祭り実行委員会」（坂硝製作所内）
TEL：03-3682-2201（担当：遠藤）